



俳句

稲井 爽 秋 選

紫陽花のゆきりとこぼす溜り水
山開き白装束の列続く
築山に白百合のみが暮れのころ
苦しみをみせず逝きぬ百日紅
病棟で孫と見てゐる火花かな
瀬戸の海残暑の夕日吸い込みぬ
ライン下る秋の河畔やまた古城
瓢箪に百の形や百の風

川柳

伊藤 凡々 選

山裾を雲這い昇り梅雨が明け
診察の医者的一声安堵する
ボケと突っ込み夫婦阿吽で演じきる
娘から父母に贈った感謝状
相槌を打ったが聞けば寄附のこと
遠い孫呼んでやりたい上げ花火
遣伝子はひ孫にうれし片えくぼ
新緑の図書館椅子は窓へ向け

短歌

藤田 虎雄 選

百歳の祝いに送られしプリザーブドフラワー
曾て咲かせし花々を想ふ
千の花、千の実結ぶ茄子を見て花なき我れも
すなおに生きよう
朝方の気配のひとつ新聞を配るバイクの音に
目覚めぬ
痛む足を曳き掃除せし庭道に雨降り竹は皮を
零せり
川蜷の縋なす道のあきらけし藻を除きたる水
底にして
二番子の抱卵の燕を危ぶめり火照り厳しきト
タン屋根下
梅雨明けを待てぬ熊蟬 気が急きて蒸す朝早
く夏を呼びをり
梁高き家吹き抜ける涼風に透ける氷の心地し
て立つ

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品（俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください）・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先 〒793-8601 明屋敷164
市庁舎本館 総務課 広報情報係
TEL 0897-52-1204（直通）

広報さいじょう8月号33ページ「さいじょう文芸広場」の俳句作品の作者名に誤りがありましたので次のとおり訂正しお詫び申し上げます。

■作品 無人駅なれど燕の子沢山 野口八千代

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.89 はじめまして



▲さくら日本語の会で勉強中の宮崎のえみさん

はじめまして。私は、宮崎のえみです。「のえ」と呼んでください。

私は、ペルーの首都リマから来ました。ペルーの国は南アメリカにあります。ペルーで一番有名な所は、インカ帝国のマチュピチュです。

初めて西条に来て、驚いたことがありました。西条の人たちは、話す時「の～え。の～え」と話していたので、私のことを呼んでいると思いました。でも、後で「の～え」は西条の方言だとわかりました。

西条のお水は、冷たくて、とてもおいしいです。特に、夏は最高です！

西条公民館で、さくら日本語の会の先生たちに日本語や日本文化を教えてもらっています。そして、西条公民館と玉津公民館で、放課後子ども教室の「国際交流いっしょにあそぼ」のスタッフをして、ペルーの国のことを紹介しています。とてもおもしろくて楽しいです。

最近、西条に住んでいる外国人に、ボランティアで生活ガイドもしています。困っている外国人が喜んでくれて、うれしいです。

西条の人たちは、わからないことを教えてくれて、とても親切です。

私は、西条に住むことができて、うれしいです。